



## 徳島県立川島中学校・高等学校の歴史

明治

13年 4月 徳島県川島中学校設立

大正

13年 11月 8日 徳島県立麻植中学校設立認可

14年 4月 1日 開校認可・校舎起工式を挙

昭和

31年 4月 1日 徳島県立川島高等学校と改称

平成

17年 11月 1日 徳島県立川島中学校を設置

18年 3月 1日 徳島県立川島中学校校舎竣

令和

5年 9月3日 川島中高公式キャラクター

あらたえちゃん・あさひくん誕生

6年 11月 8日 創立100周年を迎える



あさひくん



あらたえちゃん



# Kawako Gelato



## 吉野川市初 産官学で連携 桑を使ったジェラートの開発

Asweetsfactory×川島高等学校×吉野川市



### Asweetsfactoryの取り組み

吉野川市ふるさと納税での川高ジェラートの  
売上の一部を川島高校至誠会へ寄付し  
生徒がより良い環境で学ぶために使われます

吉野川市への  
ふるさと納税はこちら





# 川高ジェラートの歩み kawako gelato history

川高生からの贈り物

～桑のジェラートが出来るまで～  
徳島未来創造アップデートコンテスト2022  
にて川島高校生のグループが桑の研究で  
最優秀賞を受賞したことから物語が始まる  
その研究成果を吉野川市ふるさと対話集会で  
川高生が吉野川市長、市幹部職員に発表し  
地域資源を活用した産官学連携による  
総合的『桑』産業の創出を提案した  
このアイデアを市商工観光課の担当者が  
食品添加物無添加のジェラートを作る  
当店へ提案し桑のジェラート開発が始まった  
川島高校生、市担当職員とも何度も試食や  
打ち合わせを重ね食品添加物は  
もちろん無添加、白砂糖不使用  
「食べてもらう人のことを大切に想いたい」  
そんなコンセプトを共有し  
体にやさしい川高ジェラートが完成しました



## 川高生の桑の研究

とくしまマルベリーをめざして

### 地域産業の実装

血糖値効果作用などの健康補助食品製造や  
桑の六次産業化による地域産業の創出  
および糖尿病ワースト県からの脱却

### とくしまブランドの展開や「ひと」づくり

マルベリージャム、マルベリーワイン、桑紙  
など高校生による「とくしまマルベリー」の  
ブランド化や起業家の育成

### 行きたくなる徳島

観光農園、手漉き和紙体験、ワイン等の試飲  
体験など観光資源として活用

西の蚕都、阿波藍に続く

### とくしまマルベリーによる

経済都市徳島へ

その一弾として桑を使ったジェラートを開発  
川高ジェラートかわしまマルベリーとして完成



桑の実ジェラート  
マルベリーマブル  
アントシアニンなど  
免疫力強化など

桑の葉ジェラート  
マルベリーリーフ  
デオキシノマイシン  
血糖値抑制効果



## 桑畑と川島町全景

蚕業の町 地名から知る川島のなりたち

藍作から養蚕へ

藍作で栄えた川島も明治に入り安価なインド藍や化学  
染料の輸入により国産藍の需要衰退、産業は藍作から養  
蚕へと変わった。川島でも明治3年徳島藩の指示で桑の  
苗を植え始め明治21年には養蚕製糸の伝習所扶桑社が  
設立され、川島の養蚕業の成長に大きく貢献した。同年  
川島町、宮島村、桑村、山田村が合併し桑川村となった  
明治32年 麻植郡立養蚕伝習所・蚕種貯蔵庫を設置

明治34年 阿波製糸株式会社を川島に設立

明治38年 川島蚕病予防事務所を設置

明治39年 麻植郡立製糸伝習所を川島に設立

明治40年 麻植郡立蚕業学校を川島に設立

同年、桑川村は町制を施工し町名を川島町と改めた

明治期には川島は麻植郡の養蚕の中心であった  
大正2年 県内先駆けとして氷蔵庫を建設し、品質に  
優れた繭の生産が可能となり養蚕経営を安定させた  
昭和時期まで、川島町は養蚕産業を発展させ県内養蚕  
製糸業の主産地のひとつとして栄えたが、鴨島の筒井  
片岡両製糸のような大工場が設立されたこともあり

製糸業は鴨島へと移っていった。

昭和30年 川島町と学島村が合併

平成16年 吉野川市川島町となる